

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY 名古屋 ちくさ

題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 名古屋東急ホテル  
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
会長 萩原 喜代子  
幹事 渡邊 源市  
広報・会報委員長 池森 由幸

### No. 32 ローターリーを實踐し みんなに豊かな人生を

2013~2014年度 RI会長 ロン D. パートン

#### 今日の例会

第1495回 平成26年 3月18日(火)

講演：地区国際奉仕委員会委員 堀江 英弥君  
“識字率向上について”

#### 先週の例会

第1494回 平成26年 3月11日(火) 曇

講演：中部日本放送アナウンサー 久野 誠様  
“スポーツアナウンサーの視点から”

#### ◆黙祷

#### ◆それでこそロータリー

#### ◆ゲスト紹介

中部日本放送(株)アナウンサー 久野 誠様  
桜花学園IAC 卒業生 宮島 礼奈さん  
桜花学園IAC 卒業生 伊東 恵奈さん

#### ◆出席報告

会員 41 ( 37 ) 名 出席 31名  
出席率 83.78%  
前々回 2 / 26 (修正出席率) 100%

### 渡邊幹事報告

- 1) 次週例会終了後 理事役員会を開催致します。  
理事役員の方々はご予約下さい

### 萩原会長挨拶



皆さま こんにちは！  
本日は お三人のお客さまをお迎え  
いたしました。  
後ほど ご講演をいただきます中部  
日本放送 アナウンサー 久野 誠様  
桜花学園 IAC 卒業生 宮島 礼奈さ  
ん、伊藤 恵奈さんでいらっしゃいま  
す。どうぞ ごゆっくり おくつろぎ  
くださいませ。

桜花学園の宮島さん、伊藤さん ご卒業おめでとうございます。

本日は 前途洋々のお二人に送る言葉といたしまして  
「ゆず」が 歌っております歌詞をお贈りしたく思いま  
す。そして 美しく皆さまに愛される女性としてご活躍  
されますことをお祈りいたします。  
それでは「ゆず」の「友 ～旅立ちの時～」を贈ります。

\*-----\*

ゆず

友 ～旅立ちの時～

詞・曲 / 北川悠仁

友 今君が見上げる空は どんな色に見えていますか？  
友 僕たちに出来ることは 限りあるかも知れないけれ  
ど

確かな答えなんて何一つ無い旅さ 心揺れて迷う時も  
ためらう気持ちそれでも 支えてくれる声が  
気付けば いつもそばに

友 進むべき道の先に どんなことが待っていても  
友 この歌を思い出して 僕らを繋ぐこの歌を

明日の行方なんて誰にも分からないさ 風に揺れる花  
のように

確かめ合えたあの日の 約束胸に信じて  
未来へ 歩いてゆくよ

Wow 遠く 遠く

Wow 終わらない夢

Wow 強く 強く

Wow 新たな日々へと旅立つ時

友 さようならそしてありがとう 再び会えるその時ま  
で

友 僕たちが見上げる空は どこまでも続き 輝いてる  
同じ空の下 どこかで僕たちは いつも繋がっている

\*-----\*

お幸せに！

そして 中部日本放送(株)アナウンサー 久野 誠さま  
ご講演ありがとうございました。

「スポーツアナウンサーの視点から」というテーマでお  
話いただきました。

アナウンサーとしてのご自分の長い間の体験、そして  
そこから得られた人生観を さながらプロ野球実況放送  
のごとく軽妙洒脱にお話いただきました。

限られた時間の中 語り口 そして お話の内容 すべ  
てに 我々を夢中にさせていただきました。

本当にありがとうございました。

## ◆桜花学園インターアクトクラブ卒業挨拶

卒業生 伊東恵奈さん



本日はお招きいただきありがとうございます。ごめんなさい。

IACに入ったことで3年間とても充実していて、またとても貴重な経験をすることができました。

1年生の秋から1年間幹事を務めさせていただきました。人前で話すことや部員を引っばって行くことが増え、他の人とはまた少し違った

経験をすることが出来、幹事をさせて頂いた1年間は、私の高校生活3年間の中でも一番濃く、私を成長させてくれた1年間でした。ボランティアに行った話や感想を家で話すと「本当に良い部活に入ったね」と両親も喜んでくれます。また交通費の支給など、お小遣いの少ない私たち高校生にとってとてもありがたいことでした。恵まれた環境の中でボランティアをし、充実した3年間を送れたのもロータリークラブの皆様のお陰です。本当にありがとうございました。これからも後輩をよろしくお願い致します。

卒業生 宮島 礼奈さん



2月に桜花学園高等学校を卒業致しました。本日はお招き頂き有難うございます。本当に光栄に思っております。

私は高校生活3年間、8割方はIACの活動やIACに入った事での思い出になります。

私は2年生の夏休みに海外派遣研修に参加させて頂きました。ハワイでの研修だったのですが、1週間現地のIACの会長のご自宅にホームステイさせて頂いて、本当に貴重な経験をさせて頂いたと思っております。これから大学に進学しますが、大学では国際関係の学部で観光業を学びたいと思っております。この様な夢を持って進学できるのは、IACでの3年間いろいろなボランティアを経験させて頂いたからだと思っております。

また私たちの大事な後輩をこれからもご支援よろしくお願い致します。本日は本当にありがとうございました。



ご卒業おめでとうございます

## ◆講演 “スポーツアナウンサーの視点から” 中部日本放送 アナウンサー 久野 誠様



昭和50年にCBCに入社してまもなく40年、この間一貫してアナウンサーとして勤務してまいりました。

同じマスコミでも新聞記者の場合は、間違いに気づけば消しゴムが利きますが、放送の場合は、生番組で一度発した言葉は消しゴムが利きません。その意味では恥をかき続けた40年だったかも

しれません。

「放送の善し悪しは、放送前に決まる」入社以来諸先輩からよく聞かされた言葉です。「アドリブは用意しておけ」尊敬するディレクターから言われた忘れられない言葉です。何れも『事前の準備』の大切さを教えてくれています。放送という仕事は慣れの部分も大きく、経験によって要領を覚え、そつなくこなすことができるようになります。しかし怖いのがその慣れです。わかっているからもういいや……私の経験からも、事前の準備を怠った時に限って生放送でとんでもないしっぺ返しにあったことが何度もあります。

そういえば、プロ野球の選手は、何故この時期キャンプを行い、きつい練習をするのでしょうか？

選手は異口同音に「公式戦でヒット一本が出るまで不安なんです」と言います。「春季キャンプはお守り」とも言います。すなわち、練習はウソをつかないと自分に言い聞かせたいのです。アスリートとしての天才達にしてこれです。

私の経験で皆さんの参考になるお話としては、インタビューの事もいいかと思えます。この仕事をしているおかげで、いちサラリーマンにもかかわらず、普通なら絶対会えない人にこれまでも数多くお会いできました。それこそその人のプロフィールから始まってとことん取材等の事前の準備を行い、想定問答のシミュレーションをして緊張の本番を迎えます。ここで新人が陥ること、それは、箇条書きで用意した質問をただひたすら順に消化する行為です。事前に自身が想定した答えであろうとなかろうと…。インタビューは会話によるコミュニケーションです。しかし、そこに表情があり、間があります。インタビューは生き物です。何故そこをスルーしちゃう？せつかくいい言葉が出たのに何故もつとつこまない？テレビを観ていてそんな歯がゆい思いをされた方も多いと思えます。

『話上手は聞き上手』40年を経て改めてこの言葉の重みを感じます。人との付き合いの原点なのかもしれないね。

この他、話は出来る限りわかりやすく具体的に、スポーツ実況においては人間を描け、仕事に対しては常に謙虚に…40年のアナウンサー生活の反省からそういった事を自分にいつも言い聞かせています。ただ入社以来変わらないのは、仕事なんだから楽しまなきゃという姿勢です。どんな仕事でも、楽しみは見出せるものと僕は信じています。

※ニコボックスは次週掲載させていただきます

次回例会：平成26年3月25日(火)  
友愛の日

3階 錦の間